



クラウドファンディング活用法

(1) 基礎知識編

中小企業活力向上ネクストオンラインセミナー
財務管理分野

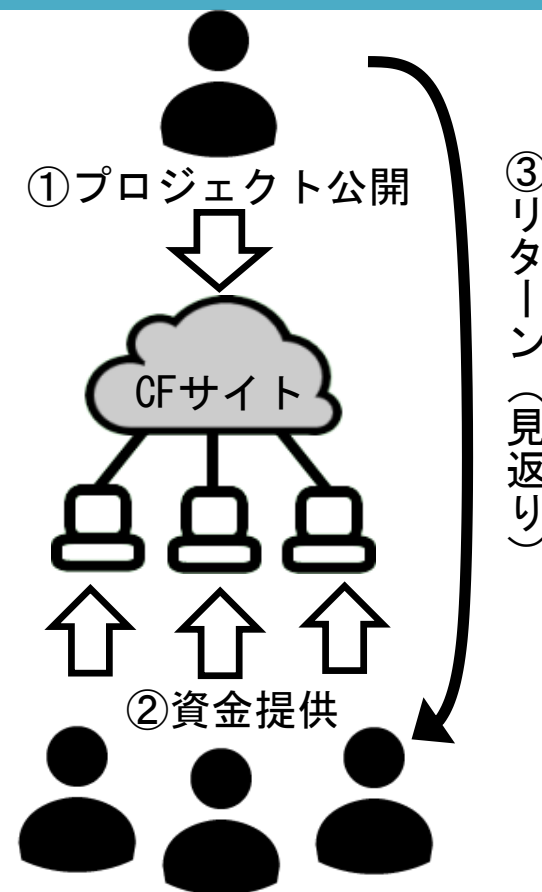
中小企業活力向上プロジェクトネクスト実行委員会事務局



クラウドファンディングとは

- ① インターネットを通じて
- ② 不特定多数の人から
- ③ (小口の) 資金を集める

・ ・ ・ 仕組みのこと



※ 図は「購入型」の場合



クラウドファンディングのタイプ

購入型	支援者へリターン（見返り）を提供する。国内でもっとも主流であり、本セミナーで解説しているもの。	
寄付型	支援者への見返りはなし。寄付金控除ができる場合もある。一部のふるさと納税（見返りの無いもの）にもこのタイプがある。	
投資型	融資型	CF事業者が投資家から集めた資金で融資（貸付）を行う。期限が来れば元本+金利分を借り手企業が払う（返済する）。そのうち数パーセントを分配金として投資家に分配する。ソーシャルレンディングとも。金融機関の貸付にも似ている。
	ファンド型	支援者はCF事業者の組成したファンドに出資することで分配金などを受け取る。
	株式型	株式投資の一種。未公開株（非上場）を販売する。2015年に解禁された最も新しい分野。



クラウドファンディングの調達額

1億2800万円	折り畳み式電動ハイブリットバイクの制作 (Makuake/2017)
1億150万円	世界初のハイレゾ級骨伝導CLIP型イヤホン (GREEN FUNDING/2017)
7805万円	「クドわふたー」劇場アニメ化プロジェクト (CAMPFIRE/2017)

平均 105万円～178万円

(上記3サイト, 2017年)





お金を集める目的は？



町工場が新製品を開発したい



音楽CDを作りたい



NPO活動を継続させたい



被災地で映画上映したい



本を作りたい



老舗食堂を継続させたい



店舗の内装をしたい



素人がお祭りを開催したい



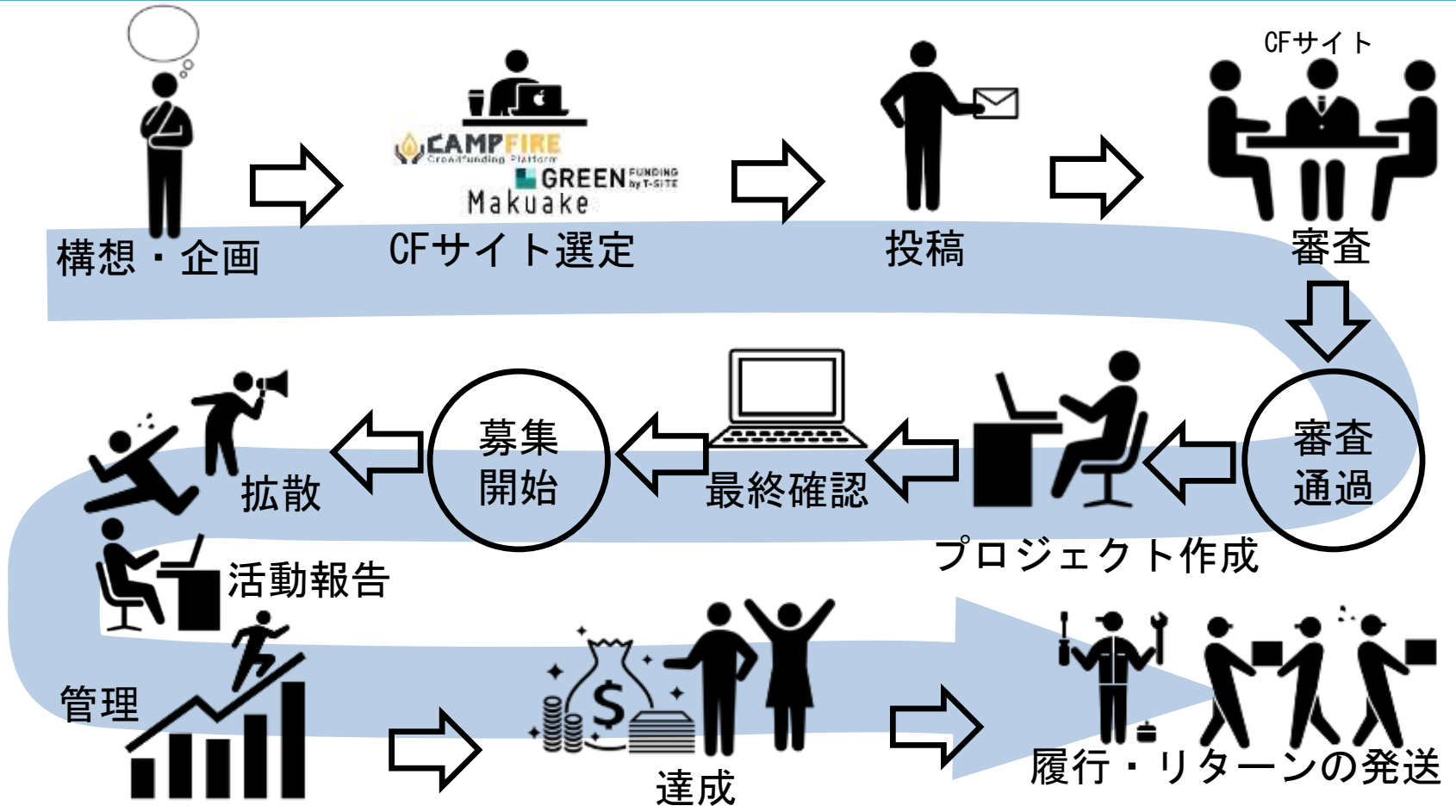
海外芸術家を招聘したい



途上国に学校を建てたい



プロジェクトの開始から終了まで





まとめ

- クラウドファンディングとは、インターネットを通じて、不特定多数の人から（小口の）資金を集める方法である
- 購入型、寄付型、投資型がある
- 国内最高調達額は1億円以上、平均調達額は100万円～200万円
- プロジェクトは、サイト（業者）選びから、リターンの履行まで